

## 愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議(平成30年度第1回)について

本年度の諮問事項は次のとおりである。

### 諮問事項

全日制単位制高等学校における入学者選抜について

#### ○ 諮問理由

本県では、県立高等学校教育推進基本計画（平成27年3月）において、多様な生徒のニーズに応える学校づくりを掲げ、中学校時代に不登校であった生徒などの特別な事情をもつ生徒が自分のペースで学習できる学校づくりを進めることとしており、その方策の一つとして、新しいタイプの全日制単位制高等学校を設置することを検討している。

全日制単位制高等学校には学年による教育課程の区分がなく、生徒は自己の興味・関心に応じて科目を選択して学び、3年間の修得単位数の合計が卒業に必要な単位数を満たすことによって卒業が認められる。また、少人数指導によるきめ細かな指導を行うことにより、生徒の学習意欲を喚起して得意分野の力を伸ばすことができる。

全日制単位制高等学校の設置にあたっては、これらの特長を踏まえつつ、特定の分野に高い能力をもつ生徒や中学校時代に不登校であった生徒を含めた幅広い学習ニーズに応えることができるよう、入学者選抜において推薦選抜及び一般選抜とは異なる特別な選抜を新たに設ける必要がある。